

2026年6月

【1分解説】個人向け国債プラスとは？

政策調査部 フェロー 谷口 智明

個人向け国債プラスとは、これまで個人に限って販売されていた「個人向け国債」の購入対象を一部の法人等にも広げることに伴い設けられた新名称です。新たに購入対象となる法人等は、非営利法人（学校法人、医療法人等）のほか、一定の非上場法人（資本金5億円未満の非上場株式会社等）やマンション管理組合などです。財務省は、2026年12月募集分（2027年1月発行分）からの導入を予定しています。背景には、国債の安定保有層を広げたいという狙いがあります。

基本的な商品性は、従来の個人向け国債と変わりません（資料）。政府が発行し、半年ごとに利子を受け取り、満期時に元本が返ってくる国債です。変動10年、固定5年、固定3年の3タイプが毎月発行され、1万円から1万円単位で購入できます。金利の下限はいずれも年0.05%です。発行から1年が経過すれば中途換金も可能ですが、その際は直前2回分の各利子相当額に一定係数をかけた額が差し引かれます。

したがって、「プラス」は金利の上乗せを意味するものではありません。従来の個人向け国債の商品性を維持したまま、購入対象を広げる変更といえます。新たに対象となる法人等にとっては、預金以外の資金運用手段を検討する際の選択肢が広がることとなります。

資料 個人向け国債の商品ラインナップ及び各商品性等

ラインナップ	変動金利型10年満期 変動10	固定金利型5年満期 固定5	固定金利型3年満期 固定3
償還期限	10年	5年	3年
発行頻度	毎月		
購入単位/ 購入限度額	最低1万円から1万円単位/上限なし		
販売価格	額面金額100円につき100円		
販売対象者	個人及び一部の法人等（非営利法人、非上場法人等）		
金利タイプ	変動金利 (6カ月毎に変動)	固定金利	
金利設定方法 (基準金利)	基準金利×0.66 (直近の10年債入札の平均落札利回り)	基準金利-0.05% (期間5年の利付国債の想定利回り)	基準金利-0.03% (期間3年の利付国債の想定利回り)
金利の下限	0.05%		
中途換金	発行後1年経過すればいつでも国の買取による中途換金が可能 ※中途換金時に、直前2回分の各利子（税引前）相当額×0.79685が差し引かれます		
償還金額	額面金額100円につき100円（中途換金時も同じ）		

(出所) 財務省HP「個人向け国債の法人等への販売対象拡大について」より抜粋
(<https://www.mof.go.jp/jgbs/individual/kojinmuke/plus/>)